

平成 27 年 3 月 11 日

公益財団法人日本卓球協会
WASURENAI 3.11 チーム
担当理事 齊藤 一美
リーダー 古市 智子

平成 26 年度活動報告

(1) 「WASURENAI 3.11」

震災復興支援のスローガンとして掲げてきた「WASURENAI 3.11」。

本年度も継続的に全国大会会場にて横断幕を掲出し、日本代表選手はこのロゴを競技ウェアに付け、復興の願いを込めて世界選手権大会並びに国際大会に出場した。

(2) 復興に向けた支援金

①平成 25 年度～27 年度の 3 年間、復興 4 県（岩手、宮城、福島、茨城）を除く、

43 都道府県登録会員にご協力をお願いした「震災復興支援金」（3 月 10 日現在分） 6,326,695 円

②県のレディース連盟、日本リーグ大会募金、全農杯全日本（ホフス・ガブ・バンビの部）会場

ヤム販売の諸経費を除く売上金 348,394 円

3 月 10 日現在、以上合計 6,675,089 円が寄せられた。

岩手県卓球協会、宮城県卓球協会、福島県卓球協会には各 1,760,000 円の支援金額分配が完了。

残金は今後新たに寄せられた額と合算した上で分配を行う。

（茨城県卓球連盟からは、ご辞退のお申し出があった）

(3) 大会支援

岩手県卓球協会、宮城県卓球協会、福島県卓球協会、茨城県卓球連盟の 4 県が主催する『<絆>卓球交流大会』は今年度で開催 4 年目を迎え、協和発酵キリン(株)様のご協賛をいただいて平成 26 年 4 月 26 日～27 日に福島県猪苗代町で開催した。

(4) その他支援

①JA 全農 2014 年世界卓球団体選手権東京大会にて、東北 5 県（青森、岩手、宮城、福島、茨城）

を招いた復興支援交流イベント「卓球でスマイル！夢に向かって。」を、協和発酵キリン(株)様ご協賛のもと開催された。

②平成 25 年度～27 年度の 3 年間、復興 4 県（岩手、宮城、福島、茨城）を除く 43 都道府県登録会員に「震災復興支援金」のご協力をお願いした。

(5) 今後の取り組み

震災から今年で丸 4 年を迎え、各復興県に沿った復興支援サポートに努めた協会事業を進める。

以上